

# 国語科学習指導略案

あさひ子学級4組 5名 指導者 三浦和也

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 個々の評価規準を達成できるとともに、自信を高めることができる内容であったか。
- 「子どもと進める授業」は子どもが主体的に授業に参加したり、自信をもったりすることに有効であったか。

## 1 単元 紙しばいを作ろう

### 2 指導計画 (総時数12時間)

過程	主な学習活動	評価規準					時間
		A (3年)	B (4年)	C (5年)	D (5年)	E (6年)	
課題をつかむ	1 紙芝居の話を決める。 ・いろいろな紙芝居を読む。 ・みんなで作る紙芝居を決める。	読みたい紙芝居を選ぼうとしている。【関】	紙芝居を選び、読もうとしている。【関】	紙芝居の話を何にするか進んで考えようとしている。【関】	紙芝居の話を何にするか進んで考えようとしている。【関】	紙芝居の話を何にするか進んで考えようとしている。【関】	2
情報を読みとる・情報を基に考える	2 紙芝居の内容を考える。 ・登場人物や台詞を考える。 ・役割分担をする。	教師と一緒に登場人物や台詞を考えようとしている。【関】	登場人物を考えようとしている。【関】	登場人物を考えようとしている。【関】	台詞を考えようとしている。【関】	登場人物や台詞を考えようとしている。【関】	2
	3 紙芝居を作り、発表の練習をする。 ・自分の担当場면을視写する。 ・自分の担当場面や台詞を音読する。 ・紙芝居の裏に自分の担当の場면을清書する。	平仮名を一文字ずつ大きな声で拾い読みしている。【読】	声の大きさや間に気をつけながら音読の練習をしている。【読】	速さに気をつけながら音読の練習をしている。【読】	句読点に気をつけながら音読の練習をしている。【読】	気持ちを込めて音読の練習をしている。【読】	4 (本時)
	4 発表のリハーサルをする。	手本を基に正しく台詞を書いている。【硬】	文字の大きさを整えて台詞を書いている。【硬】	拗音・促音に気をつけて台詞を書いている。【硬】	鉛筆の持ち方に気をつけて正しい字形で書いている。【硬】	習った漢字を進んで使い、正しく書いている。【硬】	2
主体的に表現する	5 紙芝居を発表する。 ・作った紙芝居をあさひ子学級全体で発表する。 ・自分のよかったところや友達のよかったところを話し合う。	みんなで作った紙芝居を発表しようとしている。【関】 平仮名を一文字ずつ大きな声で拾い読みしている。【読】	みんなで作った紙芝居を発表しようとしている。【関】 声の大きさや間に気をつけながら音読をしている。【読】	みんなで作った紙芝居を発表しようとしている。【関】 速さに気をつけながら音読をしている。【読】	みんなで作った紙芝居を発表しようとしている。【関】 句読点に気をつけながら音読をしている。【読】	みんなで作った紙芝居を発表しようとしている。【関】 気持ちを込めて気をつけ音読をしている。【読】	2

### 3 本時 (7/12)

#### (1) 目標

教師や友達と一緒に音読することができるようにする。

#### (2) 評価規準

A (3年)	B (4年)	C (5年)	D (5年)	E (6年)
平仮名を一文字ずつ大きな声で拾い読みしている。【読】	声の大きさや間に気をつけながら音読の練習をしている。【読】	速さに気をつけながら音読の練習をしている。【読】	句読点に気をつけながら音読の練習をしている。【読】	気持ちを込めて音読の練習をしている。【読】

(3) 指導に当たって

「つかむ」「見通す」過程では、学習計画表を基にこれまでの学習をふりかえり、本時の学習内容を確認し活動の見通しをもつようにする。

「調べる」過程では、まず個別に作成した手本やワークシートを基に視写するようにする。次にグループでお互いの音読を聞き合い、よかったところやアドバイスを伝え合うようにする。また、個別の活動後、全体で読み合わせの活動をすることでみんなで一つのものを作り上げるという意識がもて、発表会への意欲が高まるようにする。

「まとめる」「振り返る」過程では、チェックシートで相互評価し満足感をもたせるようにする。また、学習計画表や次時の学習を提示することで、次時への意欲を高めることができるようにする。

(4) 本時の展開

[ ] 子どもの意識

☞ 指導の手立て

※評価

過程	時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	教材等
つかむ 見通す	10	みんなで	1 司会が中心となり、前時の振り返りをする。 〔きれいに視写することができたよ。 音読がだんだん上手になってきたなあ。 紙芝居ももうすぐ完成だね。〕	打ち合わせシート  ICT機器  学習計画表
			2 司会が中心となり、本時のめあてを確認する。 〔きくひとによくつたわるようにおんどくをしよう。〕	
調べる	25	一人で	4 一人で自分の課題に取り組む。	ワークシート 台本
		グループで	5 グループでお互いの音読を聞き合い、よかったところやアドバイスを伝え合う。 〔大きな声が出ていたよ。 もっとゆっくり読んだ方がいいよ。 かぎかっこのところは、声を変えた方がいいね。〕	
まとめる 振り返る	10	みんなで	6 全体で紙芝居の練習をする。 〔自分の担当の所は、大きな声で速さに気を付けながら読むぞ。 立つ場所を間違えないようにしよう。 〇〇さんのアドバイスを思い出して練習をしよう。〕	※ 相手に伝わるように気を付けながら音読をしている。(発表) ○ できた子どもには、「よくできたね。」などの言葉掛けを行い、自信につながるように子どもの活動を称賛する。 ○ できなかった子どもには、教師と一緒に課題を解決できるように一文字ずつ読んだり文節ごとに区切って読んだりする。
		一人で	7 司会が中心となり、本時のまとめをする。 〔大きな声で読む。 ゆっくり読む。 かぎかっこのところは、声を変えて読む。〕	
振り返る	10	みんなで	8 教師が学習活動を称賛したり価値付けしたりする。	チェックシート 学習計画表
		一人で	9 一人で、今日の学習をチェックシートで振り返り、発表する。 〔音読が上手にできたからのびるちゃんに3つまるをつけよう。 〇〇さんの音読の速さが、とてもよかった。〕	
		みんなで	10 司会が学習計画表をもとに、次時の学習を確認する。 〔次の時間は、紙芝居の仕上げをします。〕	